

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、14名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



県道川越入間線を安心して通行できる道路に

町田 昌弘（志政会）

今回の主なテーマ

- ▶道路を整備し危険回避を
- ▶入間小跡地の活用方法

◆入間小跡地の仮囲いが撤去された今こそ早急な対応を

入間小跡地北側の歩道整備について、埼玉県との協議状況と踏切までの一帯化した歩道確保の見解は。

都市整備部長 跡地の一部を活用し、早期に歩道整備ができるように、川越県土整備事務所に要請した結果、現在、歩道整備に向けての事前作業として、測量・設計業務を実施しており、県はこの業務終了後、来年度に市と協議し、早目に整備するとの回答。歩道確保は、同事務所では、跡地の部分と同様に、入曽交差点付近の歩道未整備部分から踏切までの間の両側を整備するとしているが、民有地であり、協力が得られるところから整備していくとの回答である。

◆安全面に配慮し、適切な管理を

仮囲いが撤去されたが、暫定利用はどのように進めていくのか。

都市整備部長 同地域の面的な市街地整備が行われるまで有効活用の観点から、災害時の地域住民の一時的な避難場所として、また安らぎやコミュニティの形成の場として活用を図る。



車の往来が激しい入間小の跡地付近



都市計画マスタープランの見直しを!

栗原 武（新政みらい）

今回の主なテーマ

- ▶見直しに当たっての考え方は
- ▶都市整備の方針の重点分野は
- ▶地域拠点型コンパクトシティ

◆都市計画マスタープランの見直しの時期

①都市計画マスタープランの現時点での評価と進捗状況及び成果、見直しに当たっての市として基本的な考え方は。

②都市整備の方針の中で都市防災は重要な分野である。地域の防災力向上だけでなく、防犯力・交通安全対策などを加味した環境形成に重点をおいた施策の展開が必要では。

都市整備部長 ①進捗状況や成果は、策定後の15年間、プランに基づき、各種施策を具現化するために、総合振興計画基本計画・実施計画と連携を図り、関係地権者の理解と協力により、積極的に推進してきた。見直しの考え方は、基本理念などは踏襲し、新たに策定される第4次総合計画との整合性や都市計画審議会などの意見も踏

まえ、部分的な見直しを行っていく方針である。②マスタープランの都市防災の方針や狭山市地域防災計画に基づき、災害に強い市街地の形成や地域における防災対策の確立などにより、地域防災力を高めるとともに、策定中の第4次総合計画と整合性を図り、本プランの中でも、防犯力や環境形成に取り組んでいく必要がある。



都市防災の方針図



狭山環状有料道路の状況

萩原 義典（志政会）

今回の主なテーマ

- ▶有料道路の無料化
- ▶狭山市の少子化対策

◆狭山大橋の無料化に向けた取り組み状況は

①無料化の時期と時期が延びた理由は。
②ケーブルテレビの番組「新春に聴く」で、「朝7時から9時までの通行にかかる費用を狭山市が負担すれば無料化してもよい」と、25年7月に埼玉県から市に正式に表明があったとの発言があったが、これは事実か。

都市整備部長 ①無料化は、33年7月末の予定。当初、29年3月末が料金徴収期間満了の予定だったが、国道16号との立体交差化の延伸事業を追加実施したため延伸された。無料開放期日は、有料道路制度により、未償還金の全額返済日か料金徴収期間の満了期日のいずれかで、交通量が下回ったことで先延ばしされることはない。
②県からの時間帯を限定した無料化表明はない。

◆狭山市の少子化の状況と対策

狭山市の出生率と近年の出生数は。

総合政策部長 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した合計特殊出生率の推移は、23年が1.17、24年が1.18、25年が1.13。出生数は、23年が1,117人、24年が1,099人、25年が1,030人となっている。



狭山環状有料道路の料金所



東京五輪開催に合わせ狭山市駅加佐志線開通を

金子 広和（新しき）

今回の主なテーマ

- ▶入間川地区の土地利用構想
- ▶学校教育の充実とスポーツ振興
- ▶市政運営に対する市長の考え

◆①狭山市駅加佐志線、②菅原富士見台線、③入間川入曽線の事業計画は

①狭山市駅東口から東京狭山線の区間は。
②狭山中央通り商店街から祇園保育所近くに交差するまでの区間は。
③狭山中央通り商店街スクランブル交差点から加佐志線に交差するまでの区間は。

都市整備部長 ①21年度に策定した都市計画道路整備計画での優先順位は、1位が狭山市駅上諏訪線で、加佐志線は2位。明確な計画の提示はできないが、順調に用地取得の合意が得られれば、6～7年程度での供用を目標に取り組む。
②菅原富士見台線は、優先順位は4位だが、事業化に向けた課題などの整理・検討に取り組む。
③入間川入曽線の優先順位はないが、加佐志線

との交差を勘案し、整備効果、実現性を検証する。

◆住民の行政参加を促進し、効率的な市政運営を

開かれた市政実現のために、市民への業務の透明性と市民サービスの公平性をどう考えるか。
市長 情報公開を積極的に進めるほか、行政手続条例に基づく行政運営の推進、パブリックコメントなど、開かれた市政運営を進めている。



ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313